

平成 26 年 3 月 29 日発行

# ゆきつばき通信

第 160 号

大町山岳博物館友の会



## 山博リニューアル！！ 友の会も変わる

山岳博物館友の会会長 宮澤洋介

平成 26 年 3 月 29 日、山博リニューアルオープンの式典が正面玄関前で行われました。オープンを祝う如く北アルプスがくっきりと望まれました。時の流れ、ニーズに合わせて、これからの山博のあり方を求めた改修になりました。合わせて建物の耐震補強を行なったとのこと。改修は一階の展示が中心ですが、三階や二階の地学コーナー、玄関付近も大幅に変わりました。中でもきれいになったトイレは大人気でした。

オープンに先がけ、3 月 23 日に友の会ボランティアサークルの展示ガイド研修が行われました。それぞれ各階における展示担当学芸員による詳しい説明を受け、ガイドのポイントなどを学びまし。小坂先生には休日にもかかわらず友の会ために足を運んで頂きました。友の会が博物館と共にあゆみ、また友の会への期待も大きいと感じました。



平成 23 年には山博開館 60 周年が行われました。友の会は開館から 2 年後の昭和 28 年に発足した「博物館研究会」が始まりで、昭和 34 年に友の会と改称しています。昭和 40 年代になりその活動が低調になり、昭和 53 年 8 月に今の友の会として再スタートしました。今年 36 年目になります。長期間にわたり膨大な活動を行ってきました。

まず友の会会員自身が楽しくをモットーに、山博と関わり、北アルプスを中心とした自然と文化を見つめようではありません。

ませんか。昨年より行事を館との共催として運営を全面的にバックアップをしていたくほか、学芸員のより専門的な説明を受けることができるようになりました。サークル活動も新たに二つ誕生しました。友の会のミュージアムショップ「こまくさ」の運営は終了しましたが、新たに山口さんが同じ名前でオープンし、これからも会員の拠り所となると思います。山博のホームページも一新しました。友の会も大きく変わってきました。多くの会員が友の会活動に積極的に参加していただき、これからの友の会を盛り上げていただきたいと思います。

## 行 事 の ご 案 内

「山と博物館」もご覧ください・・・・・・・・

### 【山岳博物館・友の会共催事業】

大町市制施行 60 周年・合併 10 年記念

長野県環境保全研究所・市立大町山岳博物館連携・協力協定締結記念

### 茶臼山動物園でライチョウを観察してみよう！

ニホンライチョウの生息数は減少傾向にあるとも言われ、国は国内希少野生動植物種に指定し、保護増殖事業計画を策定しています。日本の動物園では、外国のライチョウの繁殖を試み、それを日本のライチョウを守るために役立てようとしています。なぜ、そのような試みが必要なのでしょう。みんなで見学してお話を聞いてみましょう

《期 日》 平成 26 年 5 月 11 日 午前 8 時～午後 4 時 小雨決行

《会 場》 長野市茶臼山動物園

《講 師》 堀田昌伸さん（長野県環境保全研究所研究員）

田村直也さん（長野市茶臼山動物園学芸員）

《対象・定員》 小中学生から大人 40 名（定員になり次第、締め切り）

《日程・内容》 集合 大町市役所正面玄関前 午前 8 時 00 分

解散 大町市役所正面玄関前 午後 4 時 00 分

茶臼山動物園到着後、講義「ニホンライチョウってどんな鳥（仮題）」、解説「スバルライチョウってどんな鳥？（仮題）」があります。（自由見学：2 時間 30 分）

《会員参加費》 会員：大人 1,000 円 小・中学生 無料

（入園料・保険料などを含む 一般は別料金）

《持 ち 物》 昼食と行動食（おやつ）、飲み物、敷物、雨具、筆記用具、帽子、日傘など各自必要なもの

《申し込み》 5月2日(金)までに電話で友の会事務局へ(Tel/Fax0261-23-6334)

※1 保険加入後のキャンセルには、キャンセル料(500円/1人)のお支払いが必要となります。

※2 幼児の方の参加は無料ですが、バス乗車中はシートベルトを着用して着座できることが条件となります。

【運営スタッフ】 山岳博物館 千葉・清水隆・関 友の会 松井昭・松井啓

## 報 告

山岳博物館・友の会共催事業

【さんぱく座談会 —もうすぐリニューアルオープン！地域の博物館・山博について語り合いませんか？—】

3月9日(日) 参加者31名(内、一般5名)

山岳博物館では、常設展示の改修工事などのため、平成25年11月5日から臨時閉館し、3月29日にリニューアルオープンしました。

今回の催しでは、オープンに先がけて、新しい展示のみどころを地域や友の会の皆さんにご説明するとともに、博物館を支える「友の会」の活動発表を前半に行い、後半は参加者全員による座談会を行いました。

座談会では、「博物館、友の会の未来像」をテーマに、ワールド・カフェ方式により、前半の話題提供をふまえた内容で自由に意見交換を行いました。3~4人グループ



を1テーブルとして8テーブルを設け、テーブルを移動しながら15分ごとの話し合いを計3回行いました。限られた時間でしたが、別のテーブルで出された意見を持ち寄って共有し、さらに意見交換を重ねて深めることで、さまざまな意見・提案が出されました。

事前申込みが15人程度で参加者数が心配しましたが、当日は友の会会員に多

数ご参加いただき、想定参加者を超える 31 人（一般参加者 5 人・友の会会員 26 人）〈ほか事務局 6 人参加〉の参加があり、あわてて資料を増し刷りするドタバタもありました。さらにうれしいことに、「友の会子ども探検クラブ」のOB・OGの皆さんなど 10 代・20 代の参加者や、市議会議員さんの参加もあり、さまざまな年代層やお立場から、活発で貴重な意見交換がされました。自然と人とは共生する「山岳文化都市」おおまちの未来へ向けて、その中核を担う地域の博物館“山博（さんぱく）”と、それを支える“友の会”の将来像を参加者同士で語り合うことができました。今回いただいた意見・提案は、今後の友の会運営の参考にさせていただきます。

ご参加いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

（担当運営部員：有川・宮田、事務局担当：関・千葉）

#### 《座談会で出された意見・提案より（一部抜粋）》【友の会に関して】

##### ○会員組織

- ・友の会の高齢化、会員の減少を防ぐ対策！ 若い人を引き込むには…、若い人が興味を持つような行事。
- ・山博＝友の会
- ・若い人が入りやすい博物館・友の会。

##### ○子供向けの事業

- ・子供だけで参加できる行事を。探検クラブの復活（OB にリーダーになってもらう）。
- ・探検クラブのようなものをつくり、（いろいろなジャンルの）子供たち、同時に親を集める。
- ・小学生・中学生を巻き込んだ「こども友の会」を立ち上げる。

##### ○広報

- ・友の会の催しにロマンをふくんだサブタイトルで参加したくなるようにする。
- ・Facebook や Twitter 等の SNS で活動報告や PR を行う（博物館も友の会も）。

##### ○博物館への誘客支援

- ・イベントや企画展を増やすことでリピーターを増やす。子供が遊べる企画も。友の会会員がサポートする。

## 平成 26 年度 山博友の会 総会

3 月 9 日（日） 大町公民館分室 2 階 講堂

参加者 28 名

さんぱく座談会に引き続き 26 年度の総会が行われました。議長に松井昭さんを選出し、25 年度の事業・会計報告、26 年度の事業計画、予算案が審議され承認されました（別冊の総会資料をご覧ください）。特に、「花めぐり紀行」と「山岳文化研究会」の二つのサークル活動の創設が承認されました。

《質疑等》

- ・総会日程を東日本大震災や彼岸前後は避けられないか  
これについて、役員会で27年度については4月12日を予定しています。

## 烏帽子の会活動報告

☆2月1日（土）晴れ「鷹狩山 1164m」参加者 13名（うち1名はお風呂のみ）

《コースタイム》

山岳博物館出発 9:15→林道→10:50→鷹狩山山頂 11:40 着 山頂出発 13:00→山博着 14:20 ここで一応解散とし、越山さん・西澤さんとお別れ。他10名と山博で合流した川崎晃さん1名が加わって、各自の車で薬師の湯まで移動、入浴。16:10 解散

《コース状況；その他周辺情報》

山博よりの登山口からは毎日登山をしている人がいる様で、雪が踏み固められており、林道まではさほど歩きにくい事はなかった。又、林道に出てから「頂上までの近道」を登り、ここも又、1週間前の下見の時は膝下まであった雪も完全に融けていたため難無く登ることが出来た。途中、山の子キャンプ村辺りでいくつもの動物の足跡を見つけ、その中でも熊の足跡を発見（松澤さんが見つけてくれた）した時は、こんな時季にと驚いた。又、山頂からの景色は北アルプスが悠然と穏やかに見えたが、少し霞がかかり、槍ヶ岳を見つけることは出来なかった。霊松寺への下山は、3日前の雨で雪が固められ、かんじき・スノーシューをつけた方も非常に歩きにくかった様で、皆の足にも負担がかかっていたため、霊松寺行きは全員一致で中止となった。



《感想》

頂上では各自のお弁当の他におしるこを用意し、「冷えた体を温めてくれた」と本来ならば書くところであったが、この日頂上はとにかくぽかぽかと暖かく、中にはおしるこが甘すぎたと言って、塩瀬さんが持って来て下さったお味噌汁を再度お湯を沸かし（沸くまでに時間がかかる）飲んでいたら人もいた程で、1時間半のゆったりした昼食をとることが出





来た。好天に感謝！

上に記した様に、重い雪に足をとられ時間もかかった事で霊松寺まで歩くことは出来なかったが、たかが鷹狩山、されど 1,164Mの冬山の醍醐味を・・・とまでは表現出来ないが、満喫する事が出来たとおもう。

### ☆3月15日（土）『みねかたスキー場上部』参加者 13名

#### 《コースタイム》

大町市役所 8:30~9:15 みねかたスキー場駐車場~9:35 スタート~11:00 頂上 昼食 11:30~集合写真 12:20~14:45 みねかたスキー場出発~白馬ハイランドホテル 15:00 天神の湯 15:50~大町市役所

#### 《コース状況；その他周辺情報》

白馬みねかたスキー場は3月9日にクローズして、スキーのお客さんはバックカントリーのツアーの人が6~7人だけで貸し切り状態でした。雪もまだ充分あってしまっていてスノーシュー・かんじきがなくても充分歩けました。途中雪がとけているところでふきのとうが少しでていました。風もなく暖かく最高の天気でした。



#### 《感想》

2007年3月にみねかたスキー場にいった時は、天気が悪く景色が何も見れなかったのが今回天気がどうなるかとても心配でした。また2~3日前にはかなりの雨が降ったので雪が溶けていたらどうしようかといろいろ心配でしたが当日は天候にも恵まれて風もなく暖かく、最高の天候でした。ゆっくりと営業を終えたスキー場を歩いて登り、振り返って見える山を松澤のおとうさんに教えていただきながら頂上に着きました。頂上に全長5Kのクロスカントリーのコースがあり、展望最高のポイントでお昼を食べました。白馬三山、五竜、爺ヶ岳等目の前に迫ってくるような迫力ある景色を楽しめました。帰りはソリをもってきた人はゲレンデを滑り降りしました。けっこうスリリングでした。

松澤さんはバランスの取り方も上手でスピードにのって私よりも後で滑ってこられたのに追い越されてしまいました。烏帽子の会の中でソリ名人No.1は松澤さんに決定です。



## ボランティアサークル便り

山岳博物館のリニューアルオープンに備えて、ボランティアの会に向けた館内解説の研修会が3月23日（日）に実施され、10名余りのボランティアメンバー、運営部員らが参加しました。

今回の展示改修に伴って、見学する順路が明確にされました。館全体では1階で概要をお話しした後、3階からのご案内になります。

3階は「展望ラウンジ」で北アルプスの展望を楽しんでいただくとともに大町を知ってもらうコーナーでもあります。北アルプスに関しては、パノラマ写真や山の紹介、山頂の石、雪形の伝承や山の伝説があります。天候が悪くても、映像で「北アルプスの自然と人」を知ることができます。大町のプロフィールは床面に大町市とその周辺が陰影図で描かれ、壁面には標高など、大町市の地勢がまとめられています。お客様をご案内する際には東側の小窓から付属園のカモシカなどもご紹介ください。

2階では「山の成り立ち」としてバルコニーに面して地質の展示が充実しました。ここでは地球や日本列島の地史と大町の自然が関連付けられます。フォッサマグナがいつごろどのようにしてでき、また、アルプスがいつごろどのように出来上がっていったか、触れる化石や岩石の標本とともに学べます。象徴展示としてアンモナイトが置かれています。

2階の「山と生き物」の展示では大町周辺の生物が紹介されています。ライチョウとカモシカの展示が充実しています。ライチョウが高山に生き残った最終氷期とも関連付けられています。カモシカは同じ個体からの剥製と骨格標本が対比され、脚の構造などが学べます。また、最近増えてきたニホンジカとの違いも学習できます。

1階は「山と人」をテーマに大きく展示が変わりました。1階の順路は、入って左に回る時計回りで時代を追っていきます。針ノ木峠付近について松本藩と加賀藩の関わり方とその後、大町として知っておきたい山岳人のコーナー、近代登山から海外遠征など、山と人との歴史と今が展示されています。大町の山岳文化をはぐくんだ多くの人々を紹介できればと思います。

展示物は触れるものと触れないもの、そっと触るものがありますので、ご案内の際はご注意ください。また、リンクさ



れた展示があり、同一の展示が自然や人文など複数の観点から見られるようになって  
います。整然と置かれたようなちょっとあっさりとした展示ですが、それぞれに深い  
展示理由やつながりがあることを理解して解説活動をしていきたいと思ひます。なお、  
お聴き逃しの方には山と博物館で紹介しているように「展示スポット解説」が大型連  
休期間に予定されていますので、ぜひ学芸員さんのお話を聞いていただけたらと思ひ  
ます。

#### 今後のボランティア活動の予定を上げておきます。

4月20日9時より草取り等博物館内整備を行います。5月からは毎月第4日曜日に  
草取り作業等を行います。サクラソウ栽培展示では4月29日(火・祝)に駅前移  
設、5月25日(日)には館への回収作業を予定しています。大型連休中の4月26  
～29日と5月3～6日は写生大会受付等の活動を予定しています。

なお、活動にはサークル登録(保険加入)が必要になります。

事務局担当：有川美保子

ゆきつばき通信編集室より \_\_\_\_\_

昨年度は「ゆきつばき」が発行できず申し訳ありませんでした。年度末の多忙期が過ぎれば着  
手できるかと思ひます。今しばらく猶予をください。

さて、ご案内の通り、山博の展示がリニューアルし3月29日にオープンいたしました。ぜひ山  
博に足をお運びいただきご覧いただきたいと思ひます。市内の方には大町に誇れる自然と人があ  
ることを自慢に思っていたいただきたく、市外の方にはうらやましく思っていたいただきたくと思ひます。

総会資料の添付資料として、サークル活動「花めぐり紀行」と「大町山岳文化研究会」のご案  
内を入れてあります。既存の「烏帽子の会」、「ボランティアサークル」とも参加登録希望の方  
は友の会事務局までお知らせください。

「山と博物」が広報誌としてやはりリニューアルしました。ゆきつばき通信も棲み分けをして  
いかなければいけません、内容の重複等しばらくお許しください。

さらに、ミュージアムカフェこまくさも新規開店します。友の会の手は離れてしまいましたが、  
これからも利用して応援いただければと思ひます。

(丸山卓哉)

## ゆきつばき通信 第160号

発行／大町山岳博物館友の会 平成26年3月29日

〒398-0002 長野県大町市大町8056-1

大町山岳博物館内 山博友の会事務局 Tel/Fax 0261-23-6334

会費振替口座番号 00550-2-24194 加入者名 山博友の会

山博ページ <http://www.omachi-sanpaku.com/> 山博ホームページもリニューアル

友の会は、山博の情報発信のために山博ホームページの維持に協力しています